

家業の歴史がヒントとなり、 クールな工芸品が誕生。

岡田防水布店さんは、創業 260 年の老舗。江戸時代から防水布加工業を主として、家族経営しています。防水布加工とは、各種テントやビニールカーテンの加工・施工を行う仕事。今回取材させていただいたのは、そんな同社から生まれてきた「大柿鞆」という製品。現在では、その素材・風合いを生かした服飾雑貨がニューヨークなどの海外でも人気を集めています。

みエう
つれ
けた！
た！い
鞆
大垣市



お話をお伺いした岡田智子さん。お父様・お兄様は防水布家業を、智子さんは鞆・小物、お母様は縫製を担当しています。

柿渋染めに魅せられて
戦前はどの家にも柿の木があり、防虫・防水・防腐・抗菌の効果があるということで、柿渋染めを日常的にしていたと聞いています。昔の資料を調べてみると、当家でも和紙に防水効果のある柿渋染を施し、合羽(かっぱ)を作っていた歴史があったようです。
ある時、知人が柿渋染めをしているのを知り、家にある帆布を染めてもらったら、その風合いが良くて・鞆を作ったら面白そうだなと思い付きました。自分の趣味ではじめたのですが、鞆を見た友人や知人に欲しいと言われ、口コミで広がっていきました。



日本はもとより海外でも人気となった定番のバッグ。



柿渋液は、隣町の池田山で夏に収穫した青い柿を絞り、発酵させ、三年熟成させた無添加 100% の柿渋を使用。太陽での天日干しが不可欠で、3 週間以上天日干しをして、染めますので、大変手間がかかります。



岡田防水布店
岐阜県大垣市林町 3-77
お問合せ TEL : 0584-78-3696
9:00 ~ 18:00 日曜休み

江戸時代から続く家業を家族みんなで支えています。



エコツウ 59

エコムつうしん 59号 -10月号-



琵琶湖

- ここが知りたい！エコムちゃん「近江八幡」
- うれしいエコ！みつけた「大柿鞆」

「エコツウ」は、地域から地球まで、持続可能な社会を考えるコミュニティペーパーです。
ご好意により「ロボのパン」移動販売車にて、当誌を配布いただけることになりました。どこかで「エコツウ」に出会えるかも。





ここが知りたい!
エコムちゃん

学ぶ

遊ぶ

働く



近江八幡



商人のまちとして名高い
近江八幡は、こんなところだよ。

豊臣秀次が築いた城下町を基礎としつつ、商業都市として発展した街。近世の風情がよく残る新町通り、永原町通り、八幡堀沿いの町並みと日牟禮八幡宮境内地は、「近江八幡市八幡伝統的建造物群保存地区」の名称で、国の重要伝統的建造物群保存地区として選定されており、時代劇の撮影場所としてもよく使われるよ。



水郷めぐりのまちとしても有名だよ。



琵琶湖

Mother Lake



何といっても、日本一の広さを誇る湖だからね。周辺への影響力は計り知れなくて、地元では「Mother lake (母なる湖)」と呼んでいるよ。

特に京阪神エリアにとっては、水がめとしての役割を担っていて、約1400万人がここの水を頼りに暮らしているんだ。

大昔から都と北陸を結ぶ水上交通路として使われてきたし、風景の美しさから、短歌・俳句にも度々詠われてきた。動植物の種類は1100を数え、ここにしかない固有種も多いことから、当誌で紹介した「ラムサール条約」にも登録されているんだ。

こんなに大きな湖が、国のど真ん中に存在していることが不思議。

反面、人間社会との関係も多大で幅広く、沿岸域の開発、水質悪化、外来種の侵入の影響を受けやすいため、固有の風致や生態系が大きく損なわれることにも。

滋賀県では、「琵琶湖条例」を制定するなど、環境改善に取り組んでいるよ。この豊かな湖の自然を守れるかどうかは、環境立国・日本の真価が問われているようにも思えるね。

琵琶湖条例

前文で「水は大気、土などとともに人間生存の基盤である」とうたい「幾多の困難を克服して、この水と人間の新しい共存関係を確立していかなければならない」と宣言。それが、環境問題への意識が薄かった1979年のメッセージだから注目に値します。それから5年後、大津市を会場に「世界湖沼環境会議」を開催。「琵琶湖宣言」を採択し、水質だけでなく水辺の景観など湖沼の保全が地球にとって不可欠なものであるというアピールを世界に発信しました。



新町周辺は、江戸時代末期から明治にかけて建築された商家が整然と残っているよ。まさに近江商人のふるさとだね。



売り手よし。買い手よし。世間よし。近江商人が大切にしていた三方よしの精神は、今でいうCSR(企業の社会的責任)の意味に近いかもね。



ぽつかりと浮かぶ飛び地が散在する西の湖。今でも田舟による農業が営まれていて、「日本の里百選」に選ばれているよ。

お知らせ

近江八幡駅北口観光案内所
(近江八幡観光ボランティアガイド受付所)
〒523-0891
近江八幡市鷹飼町無番地
TEL: 0748-33-6061
FAX: 0748-32-4125
開館時間 9:00 ~ 17:00
休館日 年末年始
(12月29日~1月3日)

その功績は、まちに息づいている。

ウィリアム・メレル・ヴォーリズはアメリカの建築家。近江八幡に住み、旧八幡郵便局など、多くの近代建築作品を残します。また、彼は「近江兄弟社」を設立し、メンソレータムの普及に努めた実業家でもありました。

